



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
東

上場会社名 株式会社 星医療酸器
コード番号 7634

上場取引所

URL <https://www.hosi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 星 幸男

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 後藤 勇治

(TEL) 03(3899)2101

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,772	1.0	409	7.6	428	8.2	288	6.9
2026年3月期第1四半期	3,735	3.9	380	24.8	395	23.8	269	27.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 256百万円(△45.8%) 2026年3月期第1四半期 472百万円(23.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	92.37	—
2026年3月期第1四半期	86.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	26,529	20,441	75.9
2026年3月期	26,743	20,325	74.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 20,133百万円 2026年3月期 20,005百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,480	1.5	910	5.4	950	3.5	650	3.7	208.14
通期	15,660	0.9	1,980	3.2	2,060	3.0	1,400	2.0	448.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	3,420,000株	2026年3月期	3,420,000株
2027年3月期1Q	295,100株	2026年3月期	295,100株
2027年3月期1Q	3,124,900株	2026年3月期1Q	3,123,304株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は一部に足踏みが見られるものの、雇用・所得環境の改善が進む中で各種政策の効果もあって、緩やかに回復しております。

先行きにつきましても、緩やかな回復の継続が期待されるものの、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れや、米国の通商政策等が及ぼす外部環境の変化、さらには金融資本市場の変動などが景気を下押しするリスク要因として懸念され、引き続き注視が必要な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは取扱商品・サービスの安定供給とお取引先様と従業員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,772百万円（前期比1.0%増）、営業利益は409百万円（前期比7.6%増）、経常利益は428百万円（前期比8.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は288百万円（前期比6.9%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門での主力商品であります医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。世界情勢を反映したエネルギーコスト及び運送経費上昇等に伴う材料・仕入価格上昇につきましては、市況を見ながらコスト上昇分を鑑みた適正価格への変更に注力し交渉を進めてまいりました。また円滑な組織体制づくりや物流・運送業界におけるポスト2024年問題に対応すべく人的資源の拡充にも努めてまいりました。

これらの結果、売上高は977百万円（前期比0.6%増）、セグメント利益は120百万円（前期比3.3%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策による在宅医療推進の流れを背景に、患者様及び医療機関のニーズに的確に対応し、きめ細やかな営業活動を継続いたしました。その結果「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」共に堅調に推移いたしました。利益面では世界的な原材料価格の上昇やエネルギー関連コストの高騰が続いたものの、自助努力による合理化施策を推進し、収益性の確保に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は1,896百万円（前期比7.3%増）、セグメント利益は195百万円（前期比9.4%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備並びに消火設備の配管工事及び保守点検業務を行っております。保守点検業務及びそれに伴う修繕は安定した売上を確保しております。工事売上高は建築費の高騰により医療機関の設備投資の減少及び計画自体の中止・延期の影響を受け完成工事高が減少いたしました。

これらの結果、売上高は223百万円（前期比24.2%減）、セグメント利益は44百万円（前期比5.3%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門では、主力である介護福祉関連機器のレンタル及び販売事業を中心に、デイサービス事業及び訪問看護事業を展開し、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院及び介護施設に対し継続的な営業活動を推進しております。主力の介護福祉関連機器のレンタル事業及び病院・施設向け販売事業の売上高は堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は305百万円（前期比5.7%増）、セグメント利益は12百万円（前期セグメント損失7百万円）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷（東京都杉並区）」におきましては、24時間看護師常駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、感染症予防とまん延防止を第一とした施策を徹底することにより、入居者様やご家族様への「安心」・「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。通所介護施設「あしつよ・文京（東京都文京区）」、「あしつよ巣鴨（東京都豊島区）」、「あしつよ王子（東京都北区）」におきましても、感染症予防に努めつつ地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に対応することにより稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は85百万円（前期比2.2%減）、セグメント損失は1百万円（前期セグメント損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は26,529百万円（前連結会計年度末比214百万円減）となりました。これは主に、現金及び預金が57百万円、有形固定資産のその他のうちリース資産が51百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が307百万円、投資有価証券が47百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は6,087百万円（前連結会計年度末比329百万円減）となりました。これは主に、賞与引当金が81百万円、役員退職慰労引当金が24百万円増加し、支払手形及び買掛金が314百万円、未払法人税等が209百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は20,441百万円（前連結会計年度末比115百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が148百万円増加し、その他有価証券評価差額金が16百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2026年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,210,930	11,268,396
受取手形、売掛金及び契約資産	2,892,507	2,584,812
棚卸資産	219,105	274,908
その他	107,682	129,287
貸倒引当金	△4,303	△3,914
流動資産合計	14,425,923	14,253,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,433,125	1,411,890
土地	3,645,607	3,645,607
その他（純額）	1,816,121	1,847,440
有形固定資産合計	6,894,853	6,904,938
無形固定資産	146,046	141,868
投資その他の資産		
投資有価証券	4,164,434	4,116,746
その他	1,118,333	1,117,991
貸倒引当金	△5,736	△5,726
投資その他の資産合計	5,277,031	5,229,011
固定資産合計	12,317,931	12,275,818
資産合計	26,743,855	26,529,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,662,803	2,347,868
未払法人税等	355,621	145,841
賞与引当金	202,948	284,800
その他	1,325,023	1,418,942
流動負債合計	4,546,395	4,197,452
固定負債		
役員退職慰労引当金	914,040	939,000
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	952,338	946,350
固定負債合計	1,871,523	1,890,495
負債合計	6,417,919	6,087,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	576,088	576,088
利益剰余金	18,462,749	18,610,766
自己株式	△830,573	△830,573
株主資本合計	18,644,444	18,792,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,310,520	1,293,928
退職給付に係る調整累計額	50,500	47,603
その他の包括利益累計額合計	1,361,021	1,341,531
非支配株主持分	320,469	307,368
純資産合計	20,325,936	20,441,361
負債純資産合計	26,743,855	26,529,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,735,904	3,772,202
売上原価	1,846,324	1,862,406
売上総利益	1,889,580	1,909,796
販売費及び一般管理費	1,508,855	1,500,138
営業利益	380,725	409,657
営業外収益		
受取利息	6,992	14,591
受取配当金	9,088	8,390
受取家賃	630	1,251
仕入割引	1,465	1,504
雑収入	1,899	2,339
営業外収益合計	20,076	28,076
営業外費用		
支払利息	2,871	7,350
雑損失	2,076	2,099
営業外費用合計	4,947	9,450
経常利益	395,853	428,283
特別損失		
固定資産除却損	275	—
特別損失合計	275	—
税金等調整前四半期純利益	395,578	428,283
法人税等	126,106	135,644
四半期純利益	269,471	292,639
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△456	4,002
親会社株主に帰属する四半期純利益	269,927	288,637

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	269,471	292,639
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	205,224	△33,630
退職給付に係る調整額	△2,497	△2,963
その他の包括利益合計	202,727	△36,593
四半期包括利益	472,198	256,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	471,834	269,147
非支配株主に係る四半期包括利益	364	△13,101

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	971,983	1,766,982	294,991	288,802	87,364	3,410,124	325,779	3,735,904
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	19,016	—	—	19,016	—	19,016
計	971,983	1,766,982	314,008	288,802	87,364	3,429,141	325,779	3,754,920
セグメント利益 又は損失(△)	124,965	179,017	41,873	△7,749	△5,064	333,041	47,683	380,725

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	333,041
「その他」の区分の利益	47,683
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	380,725

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	977,410	1,896,177	223,707	305,319	85,479	3,488,094	284,108	3,772,202
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	19,728	—	—	19,728	—	19,728
計	977,410	1,896,177	243,435	305,319	85,479	3,507,823	284,108	3,791,931
セグメント利益 又は損失(△)	120,883	195,841	44,087	12,497	△1,469	371,841	37,816	409,657

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	371,841
「その他」の区分の利益	37,816
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	409,657

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	221,344千円	258,208千円